

当院では、二種類の带状疱疹ワクチンを取り扱っています。

『乾燥弱毒性水痘ワクチン』は、1987年に水ぼうそう（水痘）ワクチンとして認可され、2016年に带状疱疹にも適用が拡大されました。

『シングリックス』は2020年1月に带状疱疹専用の予防接種として認可されました。それぞれのワクチンの特徴を以下にまとめます。十分に特徴を理解されたうえで選択してください。疑問点があれば予約前に医師にご相談ください。

水痘ワクチンと带状疱疹ワクチンの比較

	乾燥弱毒性水痘ワクチン	シングリックス
带状疱疹発生抑制効果	約 50%	50 歳以上 97% 70 歳以上 90%
効果持続期間	約 5～7 年	約 20 年
接種方法 / 回数	皮下注射 / 1 回	筋肉注射 / 2 回
接種間隔		2 か月
適用年齢	50 歳以上	50 歳以上
費用	9,500 円（税込）	46,000 円（税込） ※2 回分の費用合計 1 回分は 23,000 円
副反応	接種部位の痛み、腫脹、発赤 ※3 日～7 日で消失	接種部位の痛み、腫脹、発赤、 筋肉痛、倦怠感、頭痛 ※3 日～7 日で消失 ※水痘ワクチンより副反応が 強く出る可能性あり
長所・短所	長所 ・費用が安い ・接種回数が 1 回 短所 ・予防効果が落ちる ・免疫低下している方には接種できない（ステロイドや免疫抑制剤使用者）	長所 ・予防効果が高い ・免疫低下している方にも接種できる 短所 ・費用が高い ・接種回数が 2 回 ・副反応が比較的強い

<参考>

○ 帯状疱疹とは？

幼少期に感染する水ぼうそうのウイルスが原因の疾病です。発症すると、体の片側の一部にピリピリとした痛みと赤い発疹がみられます。上半身に多くみられ、片側のお腹・胸から背中にかけてのほか、顔・目の付近・頭にも現れることがあります。日本人成人の約 90%以上は水ぼうそうウイルスが体内の神経節に潜伏していると言われています。

○ 特徴

- ・ 神経に炎症を起こすため痛みが強い。
- ・ 50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに約 3 人に 1 人が発症すると言われています。
- ・ 免疫力の低下（加齢、疲労、ストレス、糖尿病やがんなどの疾病）が発症のきっかけになることがある。
- ・ 皮膚症状が治まった後も、長期間痛みが続くことがある（帯状疱疹後神経痛）。

○ 帯状疱疹後神経痛とは？

神経の損傷により、皮膚症状が治った後も 3 か月以上痛みが続いている状態を呼びます。帯状疱疹を発症した 50 歳以上の約 2 割の方が、帯状疱疹後神経痛になると言われています。